

11月新刊 「生きる」には、「食べる」と「本屋」が必要だ。

ほくりく 本屋 めし

bookstores and foods
in Hokuriku

「生きる」には
「食べる」と
「本屋」が必要だ。



サトウミキヨ

ほくりく本屋めし

2026年11月6日書店出荷開始

北陸の本屋を巡って、
その土地の本を収集し、
その土地の美味しいものを食べる喜び。

なぜなら、その時、その街でしか出会えない
ひとときがあるから。

福井県大野市で本を作る本屋「HOSHIDO」を営む
編集者・サトウミキヨが、
北陸の本屋を巡り、その魅力を綴った一冊。

街の書店、古本屋、ブックカフェなど、
本を「手渡す場所」に息づく人々の想いや営みを描き出します。

街歩きにはなくてはならない
美味しいものも一緒に。

能登半島地震を経た今だからこそ残したい、
北陸の本屋と食文化へ
祈りと応援を込めた本です。

本と、おいしいもの。どちらにも等しく熱量を注ぎ込む姿はパワフルにして軽快だ。読むこと、食べること、つくること、そしてなにより人と交わることが、著者にとっての「生きる」ことなんだと思う。一緒に笑ったりふんふんうなずいたりしながら、あっというまに読破してしまった。ああ、楽しかった。本屋さんも、おいしい食べ物屋さんも、きっとちゃんと地元で生き残っていくだろう。そんな希望が湧いてきた。

——宮下奈都（小説家・福井県在住）

<著者プロフィール>

福井市生まれ。金沢大学教育学部美術史研究室を卒業後、印刷会社、書店、デザイン事務所を経て2012年に独立。2021年に大野市に移住し、現在は大野を拠点として書籍や取材執筆、デザインなどの制作編集に携わりながら、年に1,2冊の本作りとイベント販売にて出店を行う。『はしはうたう』HOSHIDO 2019、『受け継がれたローカル線～富山・石川・福井 北陸三県鉄道賛歌～』共著 parubooks 2024

◆鍬谷書店経由で、すべての取次に出荷可能。
◆返品は長期にお受けいたします。（了解者名：佐古田）

ほくりく本屋めし

本体価格1,818円（税込2,000円） ISBN 978-4-909824-18-9 四六判ソフトカバー、144P（予定）、本文モノクロ
著：サトウミキヨ 発行：parubooks（一般社団法人地域発新力研究支援センター）

冊

パルブックス

〒939-1835

富山県南砺市立野原東 1514-18

TEL 0763-77-3789（火曜除く9～17時） parubooks

FAX 0763-62-3107



ご担当者様名

ご注文日

貴店番線印

様